



東京都市白書2013

—新たな魅力を生み出す都市づくり—



東京都都市整備局

はじめに

21 世紀は、世界人口の半数以上が都市に暮らし活動する、まさに都市の時代となっています。また同時に、「ヒト、モノ、カネ、情報」などが、自由に国境を越え都市間を移動するグローバル化の時代でもあります。こうした時代においては、都市が持つ力がそのまま国家の成長を牽引する原動力となり、日本の中でその役割を果たせるのは東京の他にはありません。

東京は、いまやニューヨーク、ロンドン、パリと並んで、成熟した世界都市としての地位を確立しているとともに、世界経済を牽引するアジアの中心都市としての役割をも担っています。世界最高水準の正確無比な公共交通ネットワーク、大都市にして極めて良好に保たれた治安、清潔なまちなみ空間、ミシュランも認める食文化の質の高さなど、東京は世界に誇れる魅力にあふれています。そして、日本人が持つ勤勉さやおもてなしの心がこうした高次元の都市運営を支えています。

地球規模で激化する都市間競争のなかで、東京が世界を代表するグローバル都市として、その地位を今後も維持していくためには、都市を取り巻く様々な環境変化に即応し、東京を住み働きやすい都市とするとともに、世界における「ヒト、モノ、カネ、情報」などを呼び込める都市として機能させていくことが重要です。

そのためには、三環状道路の整備や木造住宅密集地域の防災都市づくりなどこれまで重点的に行ってきた都市の弱点を補う取組に加えて、都市開発などを通じて、東京が持つ強みを更に発揮していけるような都市づくりを進めることにより、東京の国際的なステータスを一段と高めていくことが大切です。

そこで、今回、東京という都市が持つ力に着目し、「東京都市白書 2013」としてまとめることとしました。本書の発行を通じて、東京が持つ多彩な魅力について知っていただくとともに、これからの都市づくりを考える一助として活用していただくことを願っています。

平成 25 年 4 月

目 次

I 世界の諸都市と比較した東京の魅力

- 1 世界の都市と比較した東京のランキング・・・・・・・・・・ 3
 - ◆ 都市ランキングベスト 10・・・・・・・・・・ 3
 - ◆ 各都市ランキングによる分析・・・・・・・・・・ 4
 - （コラム） 世界で最もクリエイティブな都市は東京である！・・・・・・・・ 8
- 2 世界の中での東京の存在・・・・・・・・・・ 9
 - ◆ 世界の四大都市圏（東京、ニューヨーク、ロンドン、パリ）の人口・GRP の比較・・・ 9
 - ◆ 東京都市圏の人口密度・GRP の特徴・・・・・・・・・・ 11
 - ◆ 東京都市圏における産業の集積等の特徴・・・・・・・・・・ 12
 - ◆ 世界のメガシティ（人口 1,000 万人以上の都市）・・・・・・・・・・ 13
 - （コラム） 東京都心 3 区は圧倒的に昼間人口密度が高い！・・・・・・・・ 15

II 東京の多彩な魅力を創出する都市の形成

- 1 中核拠点における都市機能の集積変化・・・・・・・・・・ 16
 - （コラム） 質の高いオフィスの増加で、快適なビジネス環境を提供！・・・・・・・・ 18
- 2 魅力を生み出す都市開発プロジェクトの事例・・・・・・・・ 19
 - （コラム） アジアヘッドクォーター特区創設へ！・・・・・・・・ 21
- 3 都営大江戸線による地域構造の変化・・・・・・・・・・ 22
 - （コラム） リニア中央新幹線で、三大都市圏がひとつの都市圏に！・・・・・・・・ 24

III 東京の強みをいかしたまちづくり

- 1 世界に進出する東京のものづくり・・・・・・・・・・ 25
 - ◆ これからの中小企業の方向性・・・・・・・・・・ 25
 - ◆ 世界にはばたくオリジナルブランド・・・・・・・・・・ 26
 - ◆ 積極的に海外展開する中小企業・・・・・・・・・・ 27
 - （コラム） 大丸有地区の新事業創造支援拠点「日本創生ビレッジ」・・・・・・・・ 28
- 2 固有文化をいかしたまちづくりへの展開・・・・・・・・・・ 29
 - ◆ 東京に存在する個性的なまち・・・・・・・・・・ 29
 - ◆ 個性的なまちを歩く・・・・・・・・・・ 29
 - ◆ 東京の都市づくりと文化発展・・・・・・・・・・ 31
 - ◆ 「歩きやすいまち」から「歩きたいまち」への取組・・・・・・・・・・ 31
 - （コラム） ユネスコ「創造都市ネットワーク」とは？・・・・・・・・ 33
- 3 世界に先駆けた環境先進都市の実現・・・・・・・・・・ 34
 - ◆ 市民意識の高まりを捉えた環境保全の取組へ・・・・・・・・ 34
 - ◆ 民間基金と連携した緑の保全・・・・・・・・・・ 34
 - ◆ 開発が生み出す都市環境改善の取組・・・・・・・・・・ 35
 - ◆ スマートハウス、スマートシティへの取組・・・・・・・・ 36

I 世界の諸都市と比較した東京の魅力

1 世界の都市と比較した東京のランキング

◆ 都市ランキングベスト 10

都市の競争力が国家の成長を牽引する原動力となるといわれるなか、世界の様々な機関が、都市の力を計測し、都市ランキングとして発表しています。ここでは、東京を始めとした世界の都市が、国際的な視点からどのように評価されているのかについて紹介します。

★★★ 都市ランキング BEST10 ★★★

作成機関 冊子名	森記念財団 GPCI-2012 ¹	A.T.カーニー GCI2012 ²	EIU及びシティグループ GCCl2012 ³	MONOCLE QoL2012 ⁴
1位	ロンドン	ニューヨーク	ニューヨーク	チューリッヒ
2位	ニューヨーク	ロンドン	ロンドン	ヘルシンキ
3位	パリ	パリ	シンガポール	コペンハーゲン
4位	東京	東京	香港	ウィーン
5位	シンガポール	香港	パリ	ミュンヘン
6位	ソウル	ロサンゼルス	東京	メルボルン
7位	アムステルダム	シカゴ	チューリッヒ	東京
8位	ベルリン	ソウル	ワシントンD.C.	シドニー
9位	香港	ブリュッセル	シカゴ	オークランド
10位	ウィーン	ワシントンD.C.	ボストン	ストックホルム

MONOCLE からは、東京は世界の四大都市のなかで、唯一ヨーロッパの都市と並び、住みやすい都市として評価されています。また森記念財団など他の機関からは、世界四大都市として並び称されるだけの都市力を有している都市であると評価されています。

～ 各都市ランキングの紹介 ～

森記念財団 GPCI-2012

『都市の魅力を 総合的に評価』

森記念財団都市戦略研究所により 2008 年から毎年発表されています。国際的な都市比較を定期的に作成している日本唯一の機関であり、グローバルシティに係る世界的権威が参加しているため信頼性があります。産業や経済だけでなく、文化や生活の観点からも着眼した分析を行い、都市の磁力＝総合力としてランク付けを行っています。対象都市数は 40 となっています。

A.T. カーニー社 GCI2012

『多角的に都市の グローバル度を評価』

「GCI」は、世界的なコンサルティング会社の A.T.カーニー社とシカゴ国際問題評議会の共同調査によって、グローバル化とは国家から都市間ネットワークへのパワーシフトであるというコンセプトのもとに、2008 年から隔年で発表されるランキングです。「GCI」は 66 の都市を対象としています。2012 年からはグローバル都市の分析の他に新興都市アウトLOOK (ECO) も実施されています。

EIU・シティグループ GCCl2012

『世界トップレベルの人材が 集まる都市を見つけ出す』

「GCCl」は、グローバル金融業のシティが、市場競争力の理解を深め、今後成長が期待でき、優良な人材が集まる都市を見つけ出すための調査として、ザ・エコノミスト・グループのビジネス情報部門のエコノミスト・インテリジェンス・ユニットへ委託して作成しているランキングです。

8種類の分野と31の指標により総合的な評価を行っています。対象都市数は 120 と非常に多くなっています。

MONOCLE QoL2012

『生活者の視点から 暮らしやすさに着目』

グローバル情報誌「MONOCLE」が毎年誌上で発表している都市ランキングで、世界で最も住みやすい25の都市をランク付けています。

「MONOCLE」ではその都市に何が構築され、何が機能しているのかを根幹においています。また、世界各国に派遣されたライターによる先見のかつユニークな視点で分析を行っています。

¹ GPCI-2012=Global Power City Index 2012

² GCI2012 =Global Cities Index

³ GCCl2012 =The Global Cities Competitiveness Index 2012

⁴ QoL2012 =Quality of Life 2012

◆ 各都市ランキングによる分析

GPCI-2012（森記念財団）
「世界の都市総合力ランキング」による分析

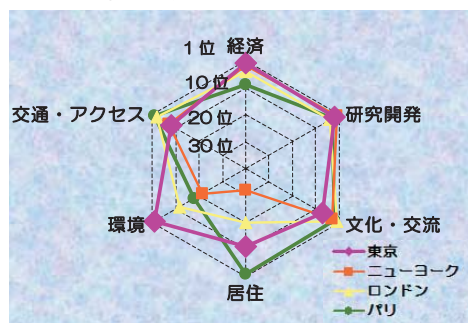
GPCI-2012における分野別総合都市ランキングでは、東京は2012年も4位と、2008年から5年連続4位となっています。東京は東日本大震災後の外資系企業の撤退や観光客の減少等の影響が危惧されていましたが、順位に変わりはなく、都市の総合力を改めて証明したといえます。また2011年と同様に、都市ランキングトップ4都市のうち、全ての分野（下表参照）においてバランスのよさ・総合力を発揮しています。2012年の結果の中で東京が最も大きく変化したことは、環境分野において2011年の6位からトップへと上昇したことです。上昇の要因としては「リサイクル率」、「CO₂排出量」、「水質」などの指標での評価が高まったことが挙げられています。総合順位で2012年は、昨年まで1位を維持してきたニューヨークを抜いてロンドンが1位となりました。2008年からスタートした本ランキングでは、これまで1位から4位までに含まれる都市に変動はありません。



【比較アクター】（東京の順位）	
経営者（7位）	
研究者（2位）	
アーティスト（3位）	
観光客（6位）	
生活者（3位）	

【比較分野】 （東京の順位）	【指標例】
◆経済（1位）	GDP・完全失業率・法人税率
◆研究開発（2位）	世界トップ200大学
◆文化・交流（7位）	ハイクラスホテルの客室数・買物の魅力・食事の魅力・海外からの訪問者数・留学生数
◆居住（11位）	物価水準・災害に対する脆弱性・人口密度
◆環境（1位）	再生可能エネルギーの比率・リサイクル率・水質・都市部の緑被状況
◆交通・アクセス（8位）	都心から国際空港までのアクセス時間・国際線直行便就航都市数・国際線旅客数・公共交通の充実正確さ

【分野別順位によるチャート】



【上位トップ3のそれぞれの特徴とは・・・】

1位：ロンドン

『五輪開催の効果を発揮』

2011年の2位から、ニューヨークを抜いて初めて1位を獲得しました。ロンドンの成長は著しく、2012年ロンドン五輪開催に向けて国際会議やイベント等の開催に取り組んだことや、それに伴う宿泊施設の整備や海外旅行者の誘致がデータに反映されています。特に文化・交流分野については2位を大きく離してトップとなっています。

2位：ニューヨーク

『研究開発分野が強み』

2008年から常に1位に位置していましたが、2012年に初めてロンドンに抜かれて2位になりました。しかし、これはニューヨークの総合力が減退したわけではありません。特に研究開発分野においては2011年と同様に他都市を寄せ付けない強さがあり、世界のトップを維持し続けています。

3位：パリ

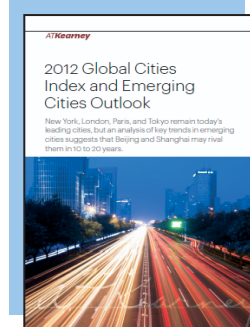
『アーティストに人気の都市』

文化交流・居住・交通アクセスの分野についてはスコアが高く、“芸術の都”“華の都”といわれるように、アーティストや生活者からの評価が高いという結果が出ています。ただし今後、欧州経済危機への対応による影響が懸念されています。

GCI 2012 (A.T.カーニー) 「 Global Cities Index 」による分析

GCI 2012 では、前回 2010 年調査に続いてニューヨーク・ロンドン・パリ・東京の四都市が上位 4 位までを占め、東京は 4 位（2008 年 4 位 2010 年 3 位）でした。東京は世界規模のビジネス拠点としての魅力度を計る、「ビジネス活動の分野」において、2010 年の 2 位からニューヨークを抜き 1 位となりました。

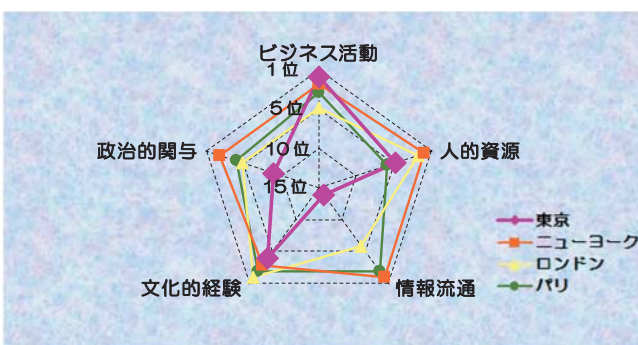
【比較分野】（東京の順位）	【指標例】
ビジネス活動（1 位）	グローバル企業の本社数、国際会議室数、港湾や空港を通過する物流量など
人的資源（5 位）	大学の数、インターナショナルスクールの数、海外からの留学生の数、大学卒の人口など
情報流通（14 位）	主要TVニュースチャンネルへのアクセス、インターネットのプレゼンス（検索での都市名ヒット数）、国際ニュースの支局数など
文化的経験（4 位）	美術館数、劇場数、主要スポーツイベントの数、レストランの多様性、海外からの旅行者数、姉妹都市数など
政治的関与（9 位）	大使館や領事館の数、主要シンクタンクの数、国際機関の数、国際活動を行う地元組織の数、国際政治会議の主催数など



総合順位が中位以上の都市間において、各指標を積み上げたスコアの差が一番大きく出た比較分野は「政治的関与」です。これは一部の都市に国際的な組織やシンクタンク、国際的な政治会議などの世界的活動の大部分が集中していることによりです。情報流通分野については、東京は他の大都市よりも順位は低くなっていますが、スコアの差は全比較分野の中で最も小さくなっています。多くのグローバル都市においてブロードバンドの普及率やメディアの支局数が同じレベルにあることは、情報が世界的にフラット化してきていることを示しています。

今後の予測として、10 年から 20 年先には北京や上海が現在上位の都市のライバルに成長すると分析しています。

【 分野別順位によるチャート 】



【 上位トップ3のそれぞれの特徴とは・・・ 】

1 位：ニューヨーク

『全ての分野で高評価』

ニューヨークは総合的に高いスコアを得ていますが、なかでも人的資源と情報流通の分野で最も高い評価を受けています。

2 位：ロンドン

『人的資源・文化的経験に強み』

ロンドンもニューヨークに続き、総合的に高いスコアを得ていますが、なかでも文化的経験や人的資源の分野で最も高い評価を受けています。

3 位：パリ

『文化的経験に強み』

ニューヨーク、ロンドンに続いて総合的に高いスコアを得ていますが、なかでも文化的経験の分野は前回に引き続き 2 位を維持しています。

GCCI (EIU 及びシティグループ) 「 HOT SPOTS : BENCHMARKING GLOBAL CITY COMPETITIVENESS 」による分析

GCCI 2012 では、東京は6位でした。東京は公共交通機関の質が高いことや、国際的な金融基盤が強固であることなどが特に評価されています。GCCI では下表にあるように8種類のカテゴリー別にそれぞれ世界都市競争指数を点数化してスコアを算出しています。アジア地域の中でシンガポール（3位）と香港（4位）が上位にランク付けされている理由は金融機関の集積や政府・制度の有効性が非常に高く評価されているためです。

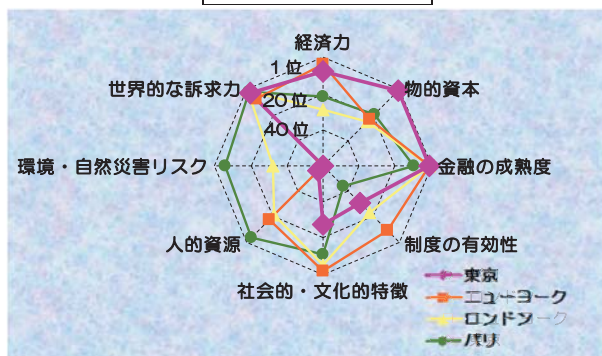
【比較分野】（東京の順位）	【指標例】
経済力（8位）	購買力平価（PPP）換算の名目国内総生産（GDP）、1人当たりGDP（PPP換算）、年間1万4,000ドル（約110万円、PPP換算）以上を消費する中間層の割合、2010～16年の予想GDP成長率、地域経済の統合度
物的資本（1位）	インフラストラクチャーの質、公共交通機関の質など
金融の成熟度（1位）	国際的な金融基盤の規模の大きさ
制度の有効性（31位）	法の規制制度など
社会的・文化的特徴（28位）	表現・人権の自由度、犯罪率など
人的資源（56位）	人口増加、生産年齢人口、教育の質、外国籍者の採用者数など
環境・自然災害リスク（60位以下）	自然災害の危険度など
世界的な訴求力（3位）	世界トップ500社の数、国際的なシンクタンクの数など



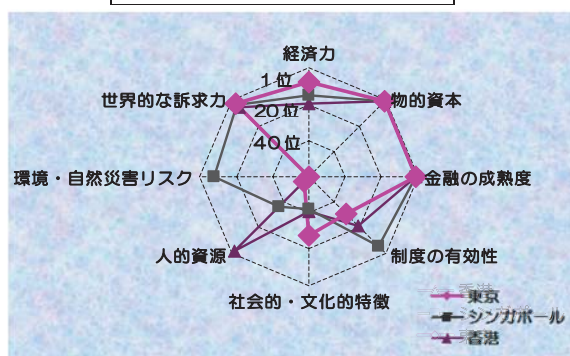
また、アジア地域の新興国（特に中国の天津・大連など）の諸都市による経済的台頭は目覚ましく、これらの都市では今後の予測においても、これから2016年までに毎年最低5%の成長が見込まれており、そのうち12都市は最低10%成長すると分析されています。これに対し、ニューヨークやロンドンなどの欧米の都市では、人的資源の分野で優勢であり、世界トップクラスの人材確保や能力開発を進めており上位を維持しています。

【 分野別順位によるチャート 】

四大都市圏の比較



アジア上位3都市圏の比較



【 上位トップ3のそれぞれの特徴とは・・・ 】

1位：ニューヨーク

『金融・メディア・ファッションなど多様性を評価』
ニューヨークは金融の成熟度、社会的・文化的特徴、物的資本の分野で高得点となっています。また、メディアや芸術、ファッション、テクノロジー、金融を中心とする経済の多様性などが強みとして挙げられています。

2位：ロンドン

『世界的な訴求力が最も強い』
ロンドンは世界的な訴求力、社会的・文化的特徴、物的資本の分野で高得点となっています。その他の分野においても、1位のニューヨークと同様に、全体として高いスコアを得ています。

3位：シンガポール

『世界の企業が進出しやすい都市』
シンガポールは物的資本、金融の成熟度の分野で高得点となっています。また、税制の優遇措置や、許認可の合理化による世界の企業誘致、さらに、以前からの厳しい環境規制により、清潔で良好な都市環境を維持していることなどが強みとして挙げられています。

QoL2012 (MONOCLE)

「世界で最も住みやすい25の都市ランキング」による分析

2012年、東京は7位(09年3位、10年4位、11年9位)でした。MONOCLEではMONOCLEならではのユニークかつ先見的な視点(例えば、感じの良いバーがあること・ショッピングを満喫できるように営業時間が設定されていること・緑地までのアクセスが便利であることなど)から評価されています。

その他の具体的な比較分野及び指標は右下表のとおりです。

東京が高評価を得ている点は

- ・高い水準の公共交通
 - ・公道の高い整備率
 - ・レストラン・ショッピングの充実
 - ・静かな裏通りと下町情緒溢れる市民性
 - ・低い犯罪率
 - ・羽田空港の国際線開業に伴う利便性の向上
 - ・人々の勤勉性や礼儀正しさ
- などでした。

東京は世界有数の大都市でありながらも、ヨーロッパの都市などと同様の住みやすさを兼ね備えていることがわかります。

この他に、京都は11位、福岡は12位と日本国内3都市が15位圏内に入っていることも特筆されます。



【比較分野・指標例】

◆人口
◆犯罪率
◆失業率
◆教育(大学数、進学率)
◆国際線の路線数
◆屋外プールの数
◆書店数



【上位トップ3のそれぞれの特徴とは・・・】

1位：チューリッヒ

『利便性の高い空港と豊かな自然』

申し分のない空港アクセス・繁華なアートシーン・豊かな公園・泳ぎを楽しめる湖があることなどが高評価へつながっています。

2位：ヘルシンキ

『素晴らしい居住環境』

昨年は1位でした。創造的であること、新しい企業家精神にあふれていること、世界の最良の居住環境のうちの1つであることが評価されています。

3位：コペンハーゲン

『高度な都市計画』

建築物、デザイン、グルメ、網の目のように張り巡らされた交通網のような高度な都市計画などが評価されており、国連においても世界で最も幸福な人々はデンマーク人であると位置付けています。



世界で最もクリエイティブな都市は東京である！

アドビシステムズ社は 2012 年 4 月、世界 5 か国における職場・学校・家庭でのクリエイティビティ（創造性）に関する意識調査を行い、世界におけるクリエイティブな国の 1 位は日本、また都市の 1 位は東京という結果を発表しました。この調査は、米国・英国・ドイツ・フランス・日本の 18 歳以上の成人 5,000 人を対象として行われました。

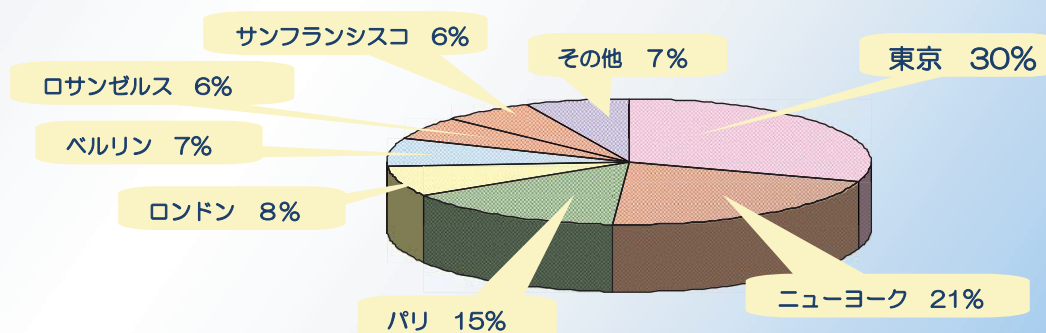
興味深いことは、日本と東京はともに 1 位にランク付けられたものの、日本人自体は自国を評価しておらず、米国・ニューヨークを 1 位としていました。日本・東京は日本人以外からの評価により結果的にトップに位置付けられたのです。



それに対して 2 位となった米国は自らを最もクリエイティブであるとし、英国、ドイツ、フランスの回答者においては自国とその都市が日本の次に最もクリエイティブであると考えています。

また、調査回答者の 80% がクリエイティビティは経済成長にとって極めて重要であると回答しています。

Q. 世界で最もクリエイティブだと思う都市は？



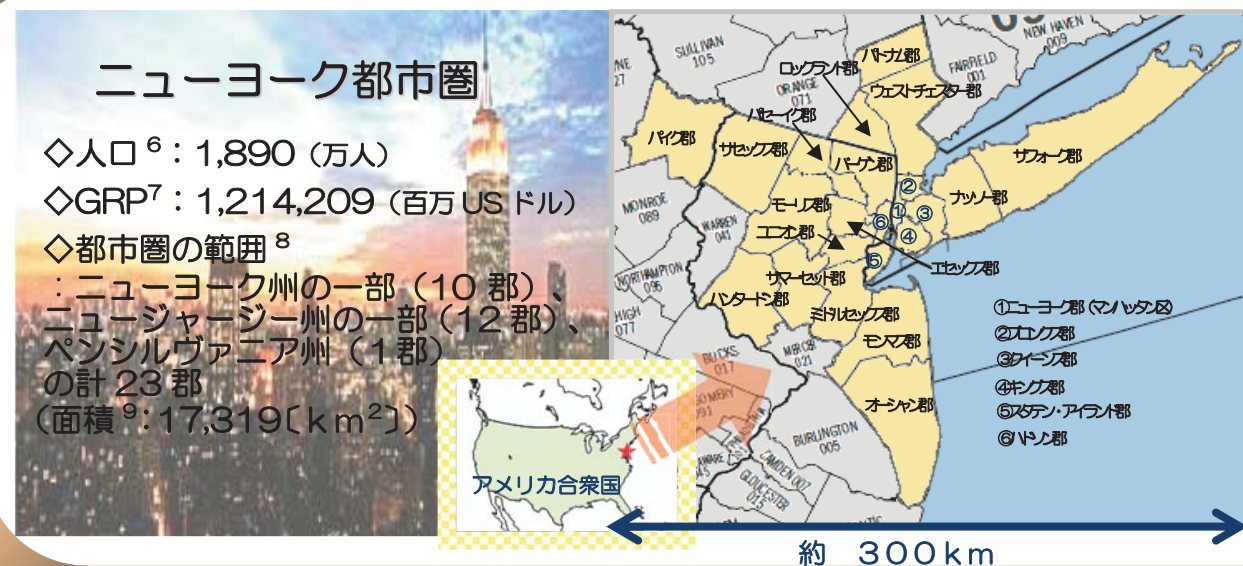
アドビシステムズ社

「Adobe State of Create グローバルベンチマーク調査」より作成

2 世界の中での東京の存在

グローバル化により激化する地球規模の都市間競争のなかで、東京は、現状においてどのような位置にあるのでしょうか。ここでは、東京と世界の各都市との比較を通じて、東京の持つ都市のポテンシャルや魅力について紹介します。

◆ 世界の四大都市圏⁵（東京、ニューヨーク、ロンドン、パリ）の人口・GRP の比較



⁵本分析においては、東京都という行政区にこだわらず、実際の都市活動が行われている東京圏を対象として、世界の各都市圏との比較をしている。また、各都市圏の人口・GRP・面積数値は 2012 年 4 月現在における最新のものである。

⁶各都市圏人口数値については日本：総務省 都道府県別人口、米国：United States Census Bureau、欧州：Eurostat に基づく。

⁷GRP（Gross Regional Product）とは都市の域内総生産のこと。上記の GRP 数値については日本：県民経済計算、米国：BEA（Bureau of Economic Analysis）、欧州：Eurostat に基づく。GRP の US ドル換算は IMF International Statics Yearbook 2011 に基づく。

⁸東京都市圏の範囲は国土交通省が定めている東京圏、米国都市圏の範囲は United States Census Bureau、欧州都市圏の範囲は Eurostat に基づく。

⁹各都市圏面積数値については日本：都道府県面積調、米国：United States Census Bureau、欧州：Eurostat に基づく。

【人口順位】 ①東京②ニューヨーク③ロンドン④パリ

【GRP 順位】 ①東京②ニューヨーク③パリ④ロンドン

⇒ 東京都市圏の人口及びGRPは世界の四大都市圏の中で最も大きくなっています。

ロンドン都市圏

◇人口^⑥：1,501（万人）

◇GRP^⑦：377,099（百万USドル）

◇都市圏の範囲^⑧：グレーターロンドンとその周辺の8州の一部
（面積^⑨：15,438〔km²〕）



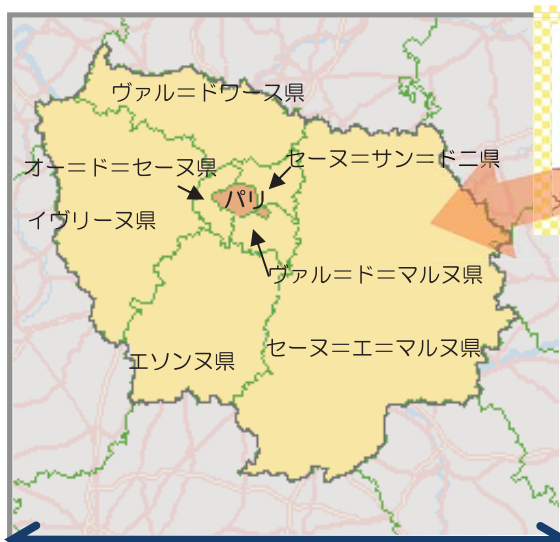
約 160 km

パリ都市圏

◇人口^⑥：1,180（万人）

◇GRP^⑦：402,899（百万USドル）

◇都市圏の範囲^⑧：パリとその周辺の7県
（面積^⑨：12,012〔km²〕）



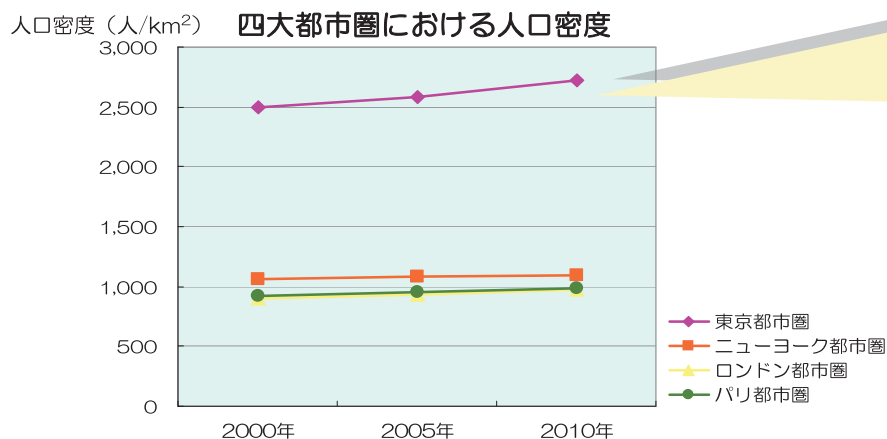
約 160 km



◆ 東京都市圏の人口密度・GRP の特徴

ここでは東京都市圏の人口と GRP を分析します。

世界の四大都市圏における人口密度の比較 (2000 年～2005 年～2010 年の経年変化の分析)

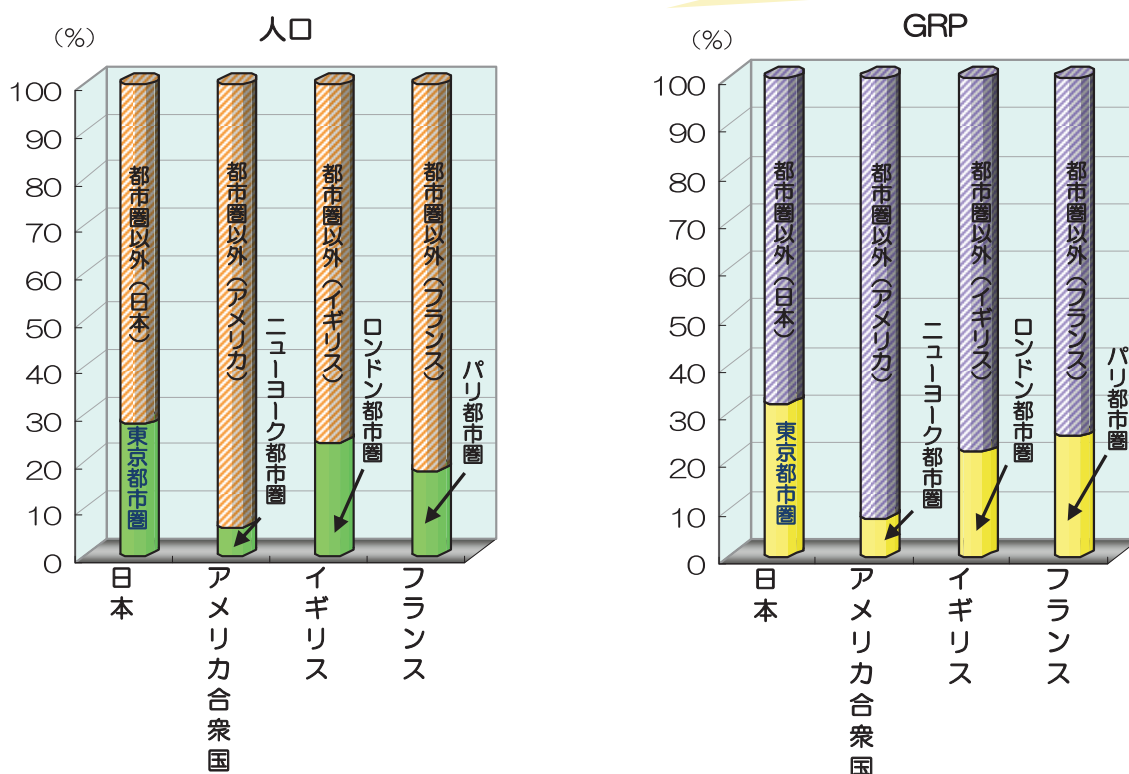


東京都市圏の人口密度は大都市圏の中でも圧倒的に高く、人口が集積していることが分かります。

続いて、四大都市圏のそれぞれの国内において、国内全体の人口及び GDP を 100%とした場合の各都市圏の集積割合を分析します。

各国内でのそれぞれの都市圏が占める人口及び GRP の集積割合の比較 (人口：2010 年 GRP：2009 年の分析)

東京都市圏の人口・GRP とともに国内の約30%が集積しています。また、東京都市圏の集積割合は他の大都市圏と比べて最も高い割合となっていることが分かります。

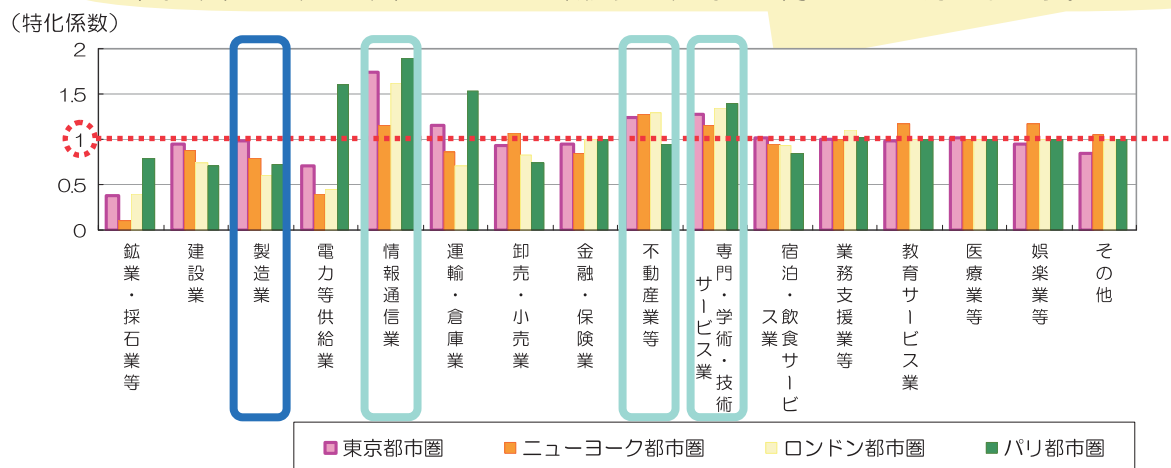


◆ 東京都市圏における産業の集積等の特徴

次に、東京都市圏を産業集積の面から四大都市圏と比較します。

世界の四大都市圏における事業所数ベースでの集積の比較

事業所数ベースでは、四大都市圏全てにおいて、情報通信業、不動産業等、専門・学術・技術サービス業等の第三次サービス業が集積しています。また製造業において、東京都市圏は他の都市圏と比べて集積度が相対的に高いことが分かります。



国土交通省「平成 23 年度首都圏整備に関する年次報告」より作成

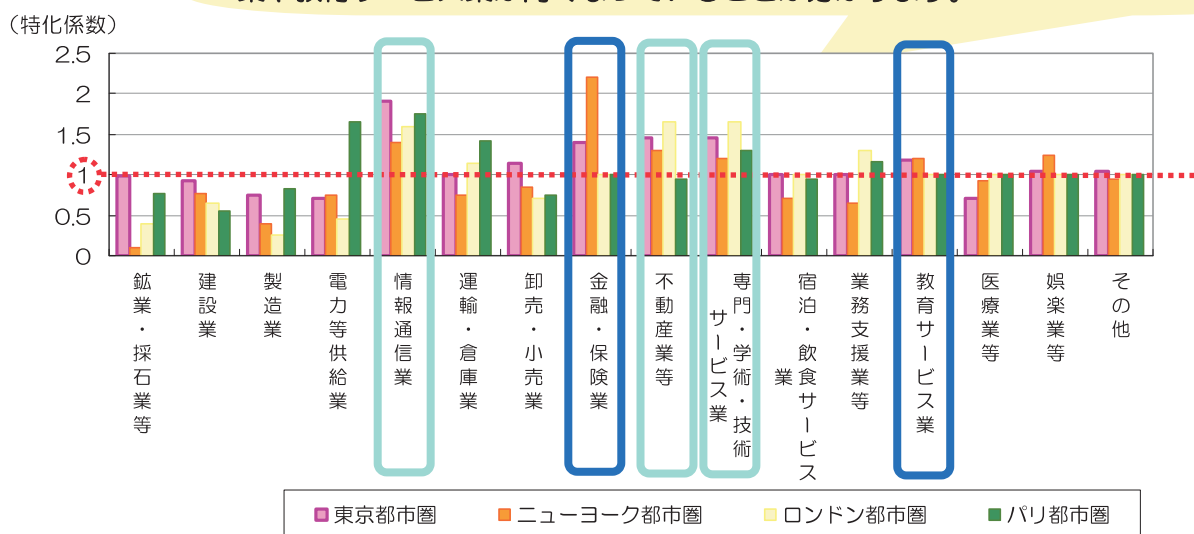
※特化係数が1より大きい場合は、その産業において当該都市圏のシェアが全国平均に比べて大きいことを示します。

(特化係数)

= (東京都市圏の A 産業の事業所数/東京都市圏の全産業の事業所数) ÷ (全国の A 産業の事業所数/全国の全産業の事業所数)

世界の四大都市圏における支払賃金ベースでの集積の比較

支払賃金ベースにおいても事業所ベースと同様、四大都市圏全てにおいて、情報通信業、不動産業等、専門・学術・技術サービス業の特化係数が高くなっています。東京都市圏においては、事業所ベースでは特化係数が低かった金融・保険業や教育サービス業が高くなっていることが分かります。



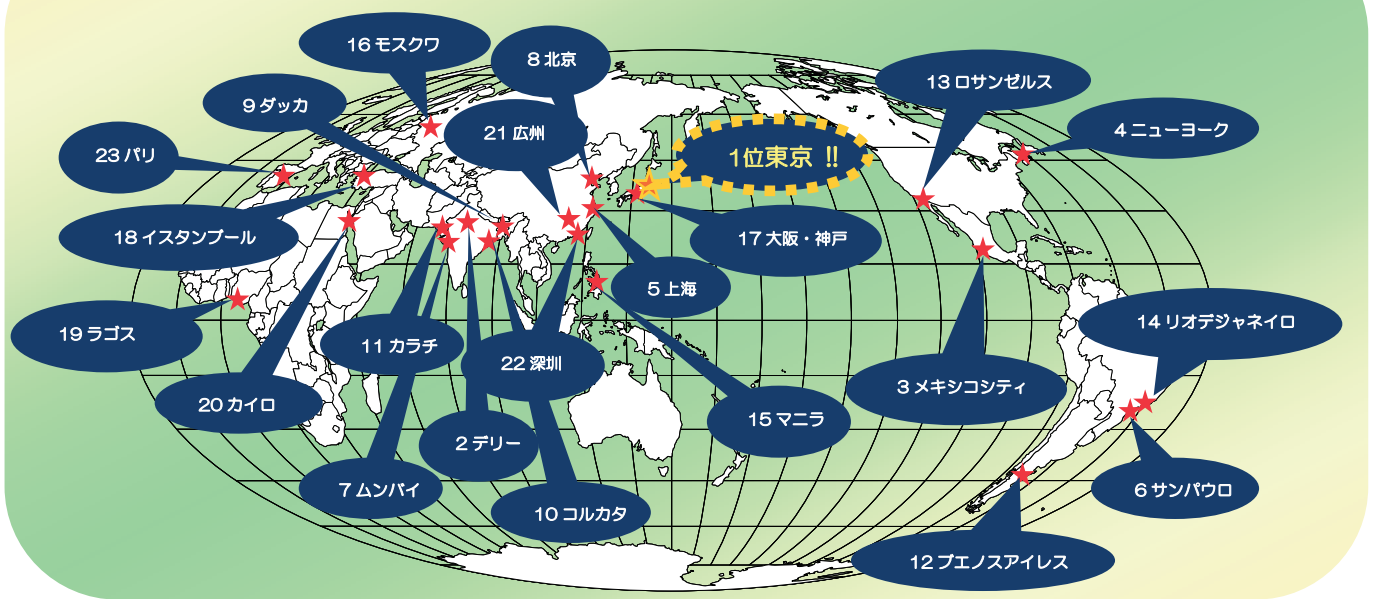
国土交通省「平成 23 年度首都圏整備に関する年次報告」より作成

(特化係数)

= (東京都市圏の A 産業の支払賃金/東京都市圏の全産業の支払賃金) ÷ (全国の A 産業の支払賃金/全国の全産業の支払賃金)

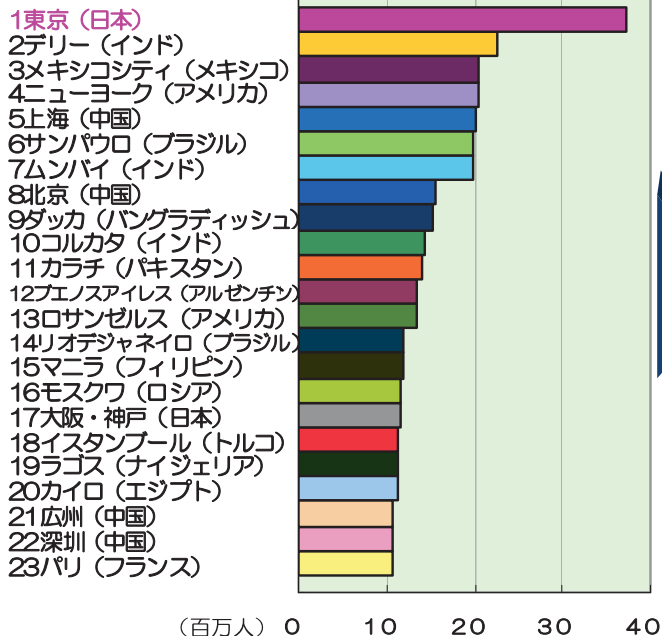
◆ 世界のメガシティ（人口 1,000 万人以上の都市）

メガシティ＝人口 1,000 万人以上の都市【2011 年】



人口 1,000 万人以上の都市の人口ランキング¹⁰

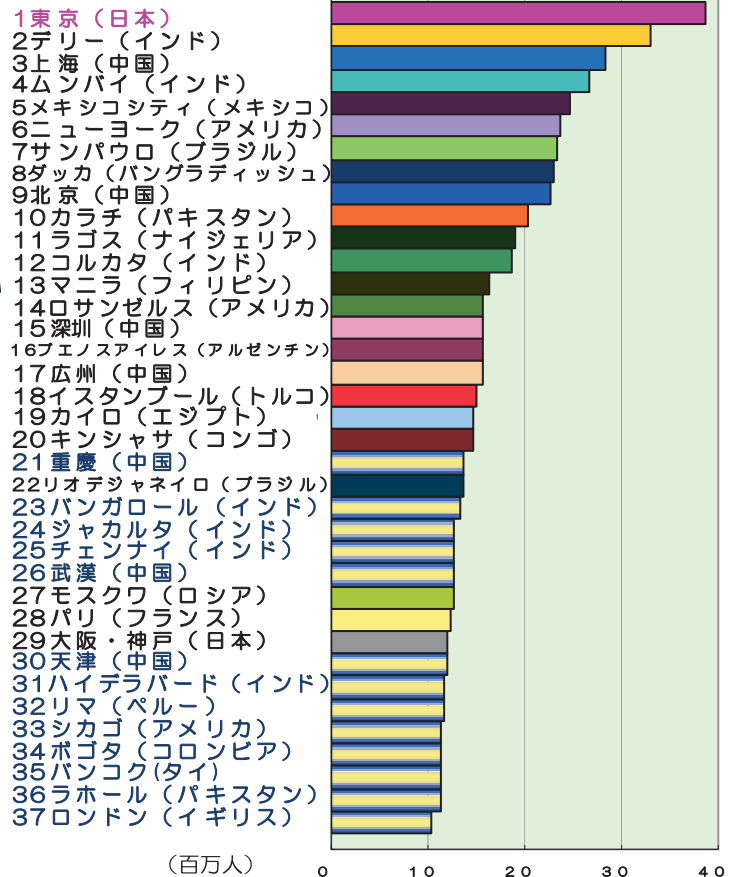
2011 年



1950 年当時は東京とニューヨークの 2 都市のみだったメガシティの数は、現在 23 都市にまで増加し、2025 年にはさらに 37 都市に増加すると予測されています。

（青字は 2025 年までに新たにメガシティになると予測された都市です。）

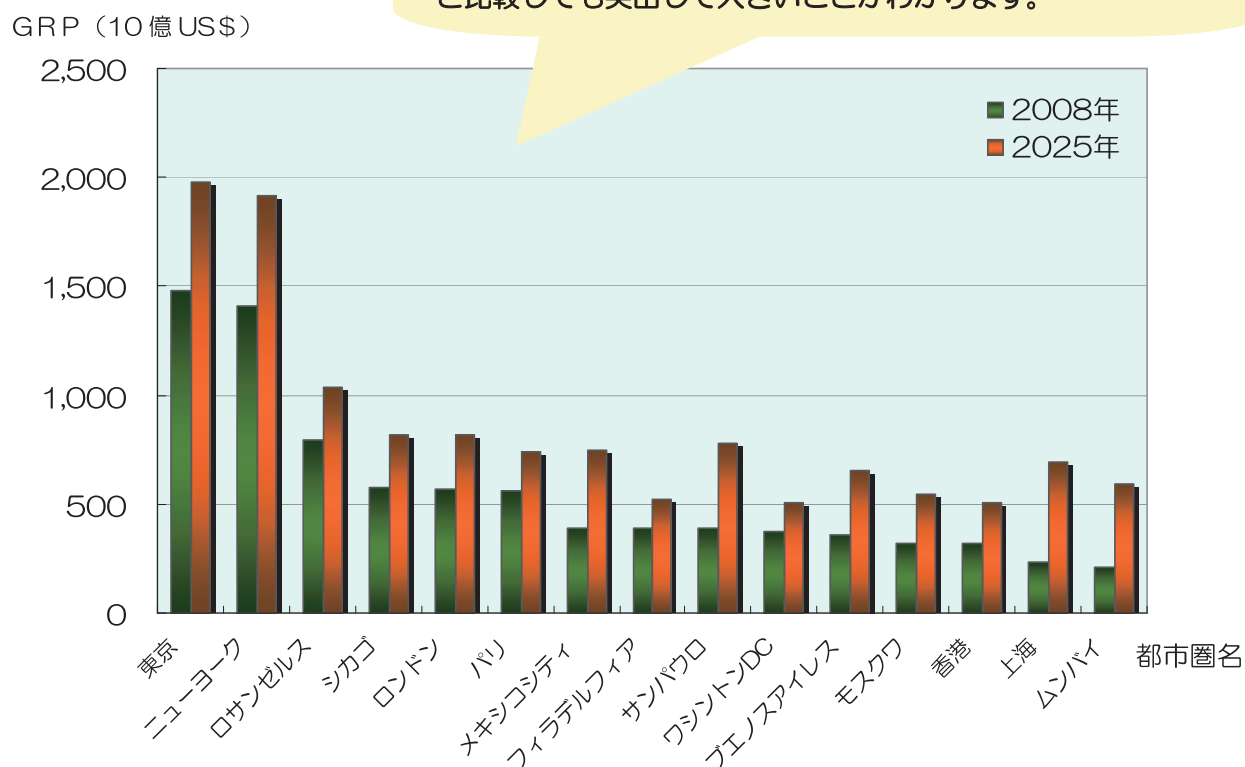
2025 年の将来予測



国連資料「World Urbanization Prospects The 2011 Revision Highlights」より作成

(参考) メガシティにおける現状の GRP¹¹ と将来予測

現状及び 2025 年の予測値において、東京都市圏の GRP はニューヨーク都市圏をしのぐ世界第 1 位であり、他の都市圏と比較しても突出して大きいことがわかります。



PwC「UK Economic Outlook November 2009」
より作成



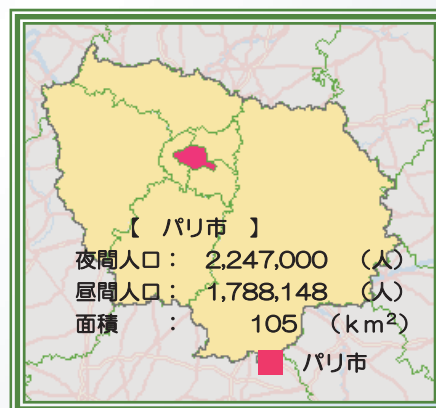
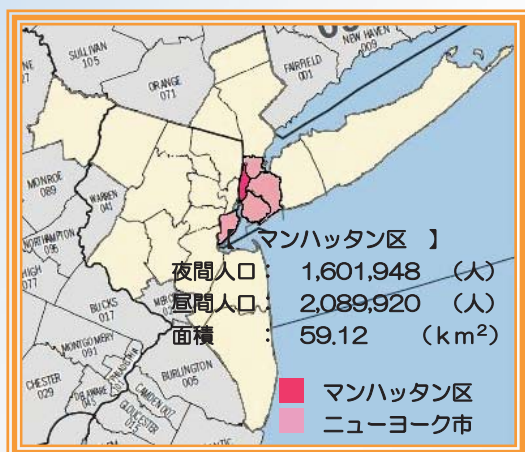
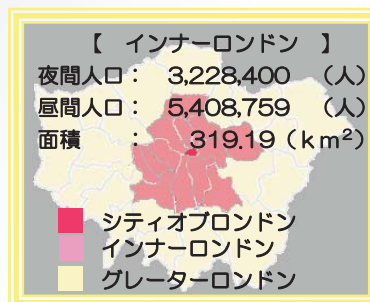
¹⁰P.13 の世界のメガシティのデータは国連によるものであり、各都市圏の範囲の定義は P.9 から P.12 までとは異なる。東京については総務省国勢調査の関東大都市圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・静岡県のそれぞれ一部）としている。

¹¹この GRP 数値は PwC によるものであり、各都市圏の範囲の定義は P.9 から P.12 までとは異なる。

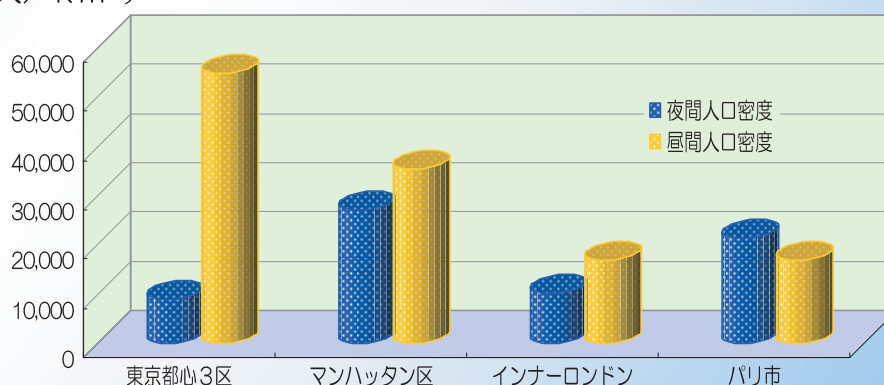


東京都心3区は圧倒的に昼間人口密度が高い！

ここでは都市圏単位に関係なく、主要な経済活動が展開され、多くの機能が集中する都心（＝Inner City）について比較してみました。



さらに上記の都心について人口密度¹²で比較すると、東京都心3区¹³はマンハッタン区、インナーロンドン、パリ市と比較しても特に昼間人口密度が高いことがわかります。
 (人／km²)



¹² 人口密度の値は 2012 年 4 月現在における最新の各都市の人口・面積数値を基にして算出している。

それぞれの値の出典は以下のとおりである。

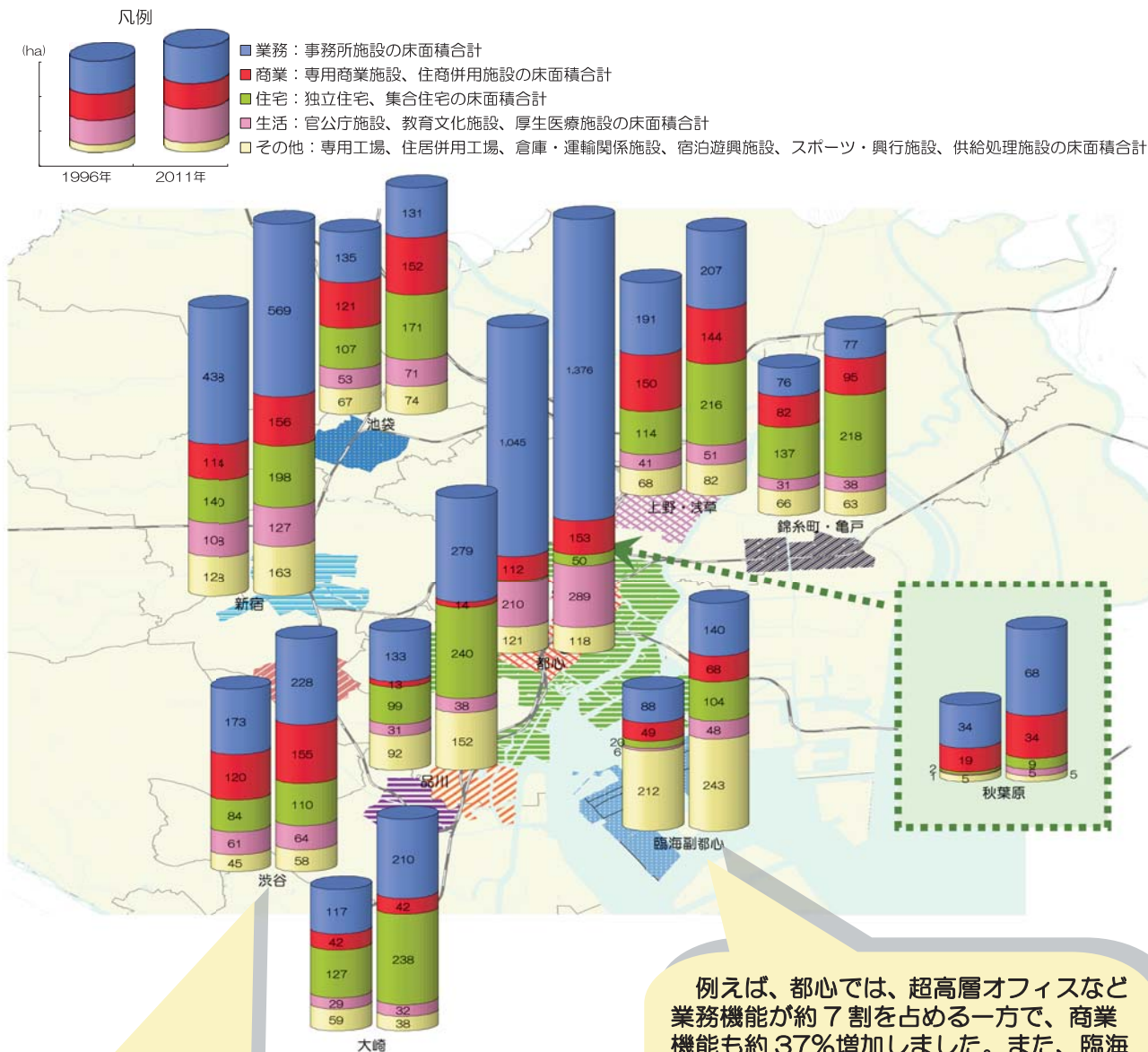
東京 23 区：総務省国勢調査（平成 22 年） ニューヨーク市：Community District Profile, NYC Department of City Planning
 グレーターロンドン：ロンドン市公式ホームページ（国勢調査 2011 年） パリ市：フランス大使館

¹³ 都心 3 区＝千代田区・中央区・港区

II 東京の多彩な魅力を創出する都市の形成

1 中核拠点における都市機能の集積変化

圏域全体で 3,500 万人を超える居住人口を抱える東京は、業務・商業・住宅などの都市機能が高密度に集積しています。ここでは、東京の活力を支える中心であるセンター・コア内に位置する中核拠点¹（都心²、副都心³、新拠点⁴）における都市機能集積特性を分析します。



業務・商業・住宅などの目的のために利用している建物の床面積の合計から都市機能の集積をみると、1996年から2011年までの15年間で23区内では38%増加しました。なかでも品川地域や秋葉原地域は、約2倍に伸びています。

例えば、都心では、超高層オフィスなど業務機能が約7割を占める一方で、商業機能も約37%増加しました。また、臨海副都心では、業務・商業・住宅・生活のそれぞれの機能が着実に増加するなど、職・住・学・遊のバランスのとれた複合的なまちづくりが進んでいます。

このように、各拠点で特徴ある個性的な機能の集積が進んでいます。

¹中核拠点：東京圏の中核エリアであるセンター・コア等において、それぞれが個性ある特徴をいかし、発達した公共交通ネットワーク等を通じて、相互に機能分担・連携しながら東京の経済活力を支える拠点のこと。都心、副都心、新拠点及び核都市がこれに該当する。

²都心：東京都の中心業務商業地（大手町、丸の内、有楽町、内幸町、霞ヶ関、永田町、日本橋、八重洲、京橋、銀座及び新橋）

³副都心：新宿、渋谷、池袋、大崎、上野・浅草、錦糸町・亀戸及び臨海

4新拠点：基幹的な交通基盤の整備と多様な機能集積により、センター・コアの機能を一層高め、都心や副都心とともに、東京の経済活力などを支える拠点。現時点では、品川、秋葉原、羽田がこれに該当する。

品川 ―東京と世界を結ぶ新たな拠点―

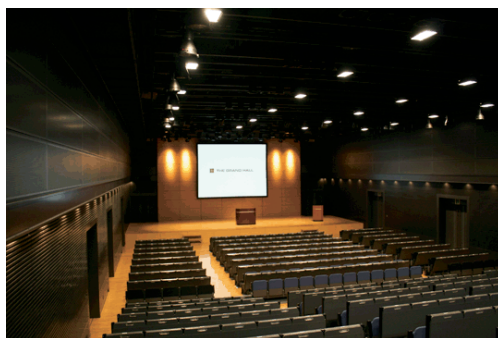
品川地域は、旧国鉄の操車場跡地を利用した再開発事業で「品川インターシティ」や「品川グランドcommons」などに多様な機能を集積させるとともに、駅の中心的な動線となる東西自由通路などを整備し、地域の拠点性を向上させました。

駅周辺では、羽田空港から最も近い中核拠点として宿泊施設やコンベンション施設を積極的に増やすなど、観光機能や国際交流機能の充実を図っています。

今後も、羽田空港の国際化に加え、品川駅がリニア中央新幹線の始発駅になるなど、国内外の玄関口として地域の重要性が高まります。更なる需要に対応するため、広域交通結節点にふさわしい交通基盤の形成と、ビジネスを始めとする国内外の交流機能の導入などにより、ポテンシャルをいかしたまちづくりが進められています。



品川インターシティと品川グランドcommons



コンベンション施設（品川グランドホール）
写真資料 THE GRAND HALL

渋谷 ―誰もが使いやすい交流拠点へ―

渋谷駅は、複数の鉄道路線が乗り入れ、都内最大級のバスターミナルを持つ、全国有数の交通結節点となっていますが、増改築を重ねた駅施設は、老朽化が進み、乗り換え経路も複雑になっています。また、駅の周辺も谷地形や鉄道、幹線道路によるまちの分断など、多くの課題を抱えています。

そこで、地下鉄副都心線開業や東急東横線との相互直通運転化などの鉄道整備と合わせて、交通広場や地下連絡通路などの都市基盤の整備と都市開発を一体的に実施することにより、駅周辺交通混雑の緩和や駅施設のバリアフリー化、鉄道間の乗換利便性向上、周辺市街地の再編などを図る、総合的なまちづくりが進められています。2012年には「渋谷ヒカリエ」が東急文化会館跡地に開業し、商業施設とともに渋谷を文化交流拠点にするためのミュージカル劇場などが整備され、大人が楽しむまちとして、渋谷の魅力が高まっています。

このように渋谷地域は新たなまちづくりにより大きく変貌しつつあります。1日に約300万人が利用する、誰もが安全で使いやすいターミナル機能の強化に加え、世界に開かれた、先進的な生活文化等の情報発信拠点として発展していくことが期待されます。



資料提供 東急電鉄(株)

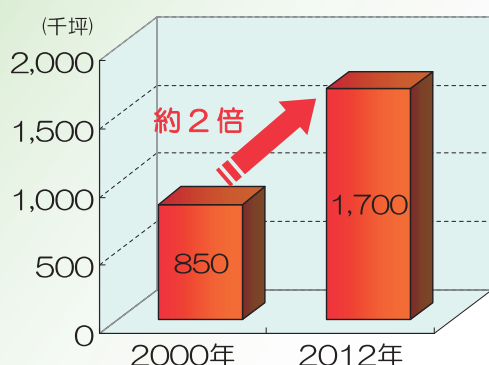


質の高いオフィスの増加で、快適なビジネス環境を提供！

東京都心には多様な機能が集積していますが、特に業務機能の集積はめざましい変化を続けています。

都心部⁵に立地する高い設備基準を満たしたビル＝Aクラスビル（延床面積 10,000 坪⁶以上、基準階床面積 300 坪以上、概ね築年数 15 年以内、天井高 2.7m 以上、個別空調、高い耐震・環境性能などの設備原則を満たした事務所建築物）のストック量の変化を下図に示し

都心部Aクラスオフィスの延床面積の変化
(2000→2012)



ています。2000 年から 2012 年にかけて A クラスビルの延床面積は約 2 倍になっており、近年のオフィスには、広くて新しく、設備面で高水準を誇る機能が増えてきていることが分かります。東京がグローバル都市として更なる進化を遂げていくためには、今後もこうした質の高いオフィスの提供により、グローバル企業の誘致を促し、東京の魅力を高めていくことが重要です。

三幸エステート(株)「オフィスレントデータ 2013」
より作成



⁵ 都心部：ここでは都心5区（千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区）主要オフィス街及び大崎、目黒、飯田橋駅周辺など周辺区オフィス集積地域

⁶ 坪：1 坪＝約 3.3 m²

2 魅力を生み出す都市開発プロジェクトの事例⁷

東京の大規模な都市開発においては、業務や商業施設の整備にとどまらず、人々の憩いとなる緑の創出やにぎわいをもたらす文化施設などが整備され、まちの魅力を高めています。

新宿駅周辺地域

・西新宿一丁目7地区

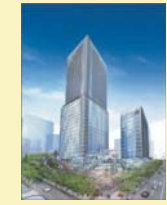
西新宿一丁目7地区での開発では、回遊動線の創出とともに、ビルの特徴あるデザインによって東京の表情豊かな都市景観を形成しています。



西新宿一丁目7地区

秋葉原・神田地域

- ・淡路町二丁目西部地区
- ・神田駿河台三丁目9地区
- ・神田駿河台四丁目6地区



淡路町二丁目西部地区
資料提供 淡路町二丁目西部地区
市街地再開発組合

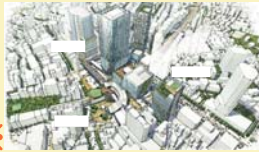


神田駿河台三丁目9地区
資料提供 三井住友海上
火災保険㈱

環状四号線新宿富久沿道地域

渋谷駅周辺地域

- ・渋谷駅地区 ※
- ・渋谷二丁目21地区
- ・渋谷三丁目21地区 ※



資料提供 東急電鉄㈱

大崎駅周辺地域

・北品川五丁目第1地区

北品川五丁目第1地区では、隣接する目黒川の水質改善を目的とする合流改善施設を敷地内に設置するとともに、目黒川を軸とする風の道の確保を目指しています。



北品川五丁目第1地区
資料提供 北品川五丁目第1地区
市街地再開発組合

- ・大崎駅西口E東地区
- ・大崎駅西口A地区

品川・田町駅周辺地域

東京都心・臨海地域

- ・丸ノ内1-1地区
- ・丸ノ内2-1地区

丸ノ内2-1地区では丸の内初のオフィスビルである三菱一号館を復元し、「三菱一号館美術館」として丸の内地区に新しい文化施設を設置しました。

また、パークビルに隣接する広場空間約350㎡を緑化、噴水施設を整備して、来街者の憩いの場として開放しています。



丸ノ内2-1地区 三菱一号館外観、中庭

- ・丸の内一丁目1-12地区
- ・丸の内二丁目7地区

丸の内二丁目7地区の旧東京中央郵便局建替計画においては、旧東京中央郵便局建物を部分的に保存して有形文化財の登録を目指しています。



東京中央郵便局・JPタワー

- ・大手町地区Aゾーン
- ・大手町地区B-1街区
- ・大手町地区B-2街区
- ・大手町地区B-3街区 ※
- ・大手町一丁目1地区
- ・大手町一丁目6地区

大手町一丁目6地区では、都市の中に本来あったであろう本物の森としてしつらえられた約3,600㎡の「大手町の森」を創出し、都市の再生による自然の再生に取り組んでいます。



大手町一丁目6地区

- ・京橋二丁目3地区
- ・京橋二丁目16地区
- ・京橋三丁目1地区
- ・銀座四丁目6地区
- ・銀座四丁目12地区

銀座四丁目12地区の歌舞伎座建替計画においては、旧歌舞伎座の外観を継承しつつ、新たに地区内に伝統文化の交流拠点（歌舞伎座ギャラリー）などの文化施設の設置を計画しています。



大手町の森
資料提供 南東京プライムステージ

- ・銀座六丁目10地区
- ・日本橋室町東地区
- ・日本橋二丁目地区
- ・浜松町二丁目4地区



銀座四丁目12地区
資料提供 ㈱歌舞伎座

⁷ ここでは魅力ある都市開発プロジェクトの事例として、都市再生特別措置法に基づく都市再生緊急整備地域における都市再生特別地区を活用した事例を抽出。（平成25年4月1日現在） ※は都市計画手続中

これらの取組により、更に東京が世界に開かれた都市となり、東京の国際競争力がますます向上していくことが期待されています。



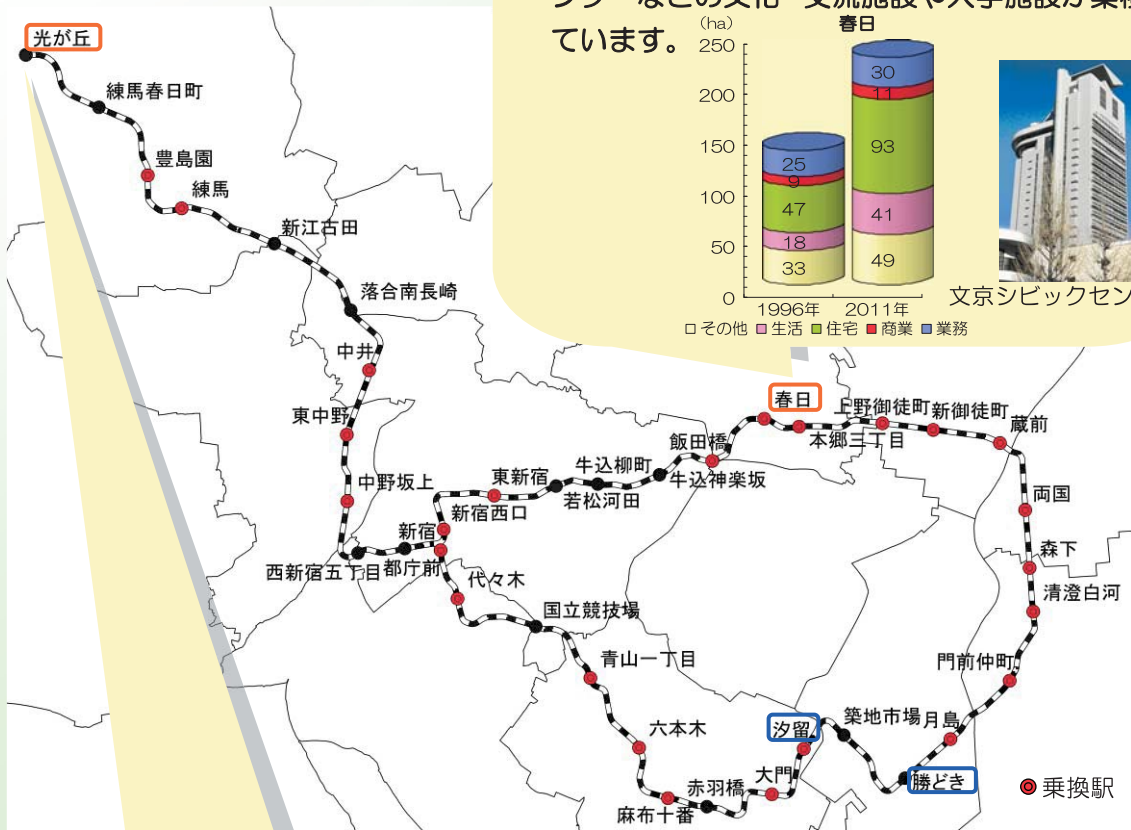
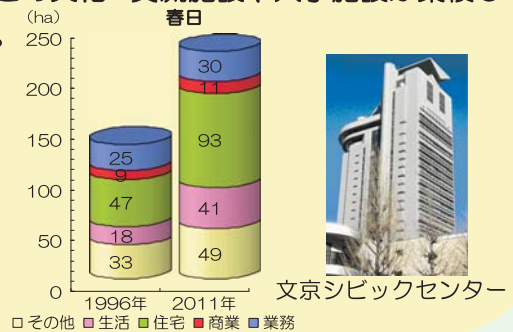
3 都営大江戸線による地域構造の変化

鉄道や道路などの都市インフラの整備は、都市の人々の移動の利便性を大きく高めます。東京都心部は、JR 山手線に次いで環状の路線を持つ都営地下鉄大江戸線（以下、「大江戸線」といいます。）の整備により、都心から放射状に広がる鉄道各路線を環状方向に束ねて乗換え利便性を高めたことなどで、地域の構造も変わりつつあります。

大江戸線は、現在 1 日延べ 156 万人が利用する東京の重要な交通機関となっています。ここでは、大江戸線沿線における駅周辺のまちづくりについて紹介します。⁸

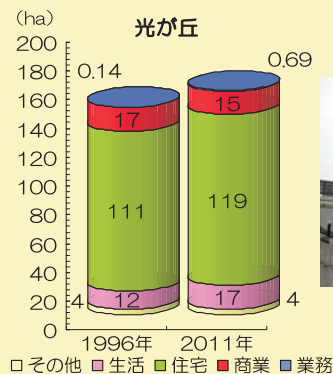
春日

旧文京公会堂跡地に竣工した文京シビックセンターなどの文化・交流施設や大学施設が集積しています。



光が丘

大江戸線の開通による都心へのアクセス性向上と前後して住宅や生活利便施設の充実が図られており、駅周辺の住環境が充実していることがうかがえます。



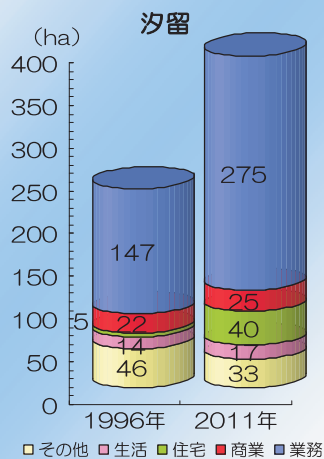
光が丘駅前

⁸ 各拠点の集積グラフの定義は、P.16 と同様とする。

汐留、勝どきにみる鉄道の開通と地域構造の変化

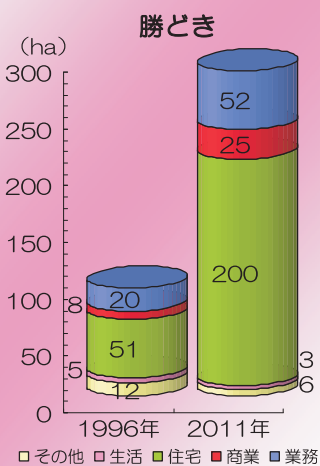
汐留

都心部と臨海部を結ぶ大江戸線やゆりかもめの整備に合わせ、区画整理を行い、民間開発を誘導しました。これにより、東京の新しい業務集積地が形成され、商業、宿泊、居住等の様々な都市機能が導入されました。



勝どき

都心居住の拠点として快適性を確保した高層住宅の建設が進んでいます。特に大江戸線が開通した2000年以降、駅周辺に相次いで高層マンションが完成したことにより住宅機能の集積が進んでいます。

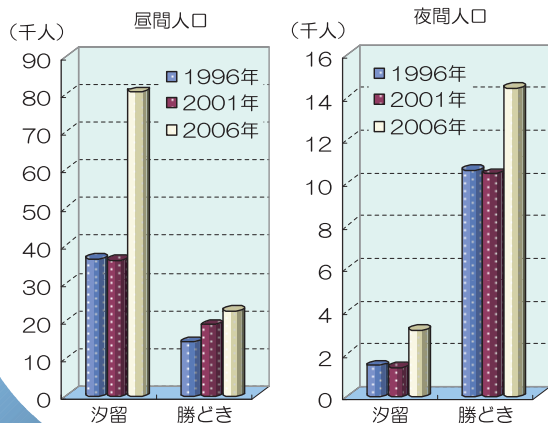


汐留 区画整理地区



勝どき 高層マンション群

汐留駅及び勝どき駅（駅周辺500m圏内）
昼間人口及び夜間人口の推移



隣接した汐留駅と勝どき駅の周辺において、それぞれの地域特性に応じたまちづくりが進められた結果、両駅周辺の人口集積にも特徴が生まれました。

汐留駅周辺では昼間人口が増加している一方、勝どき駅周辺では、夜間人口の増加が顕著です。



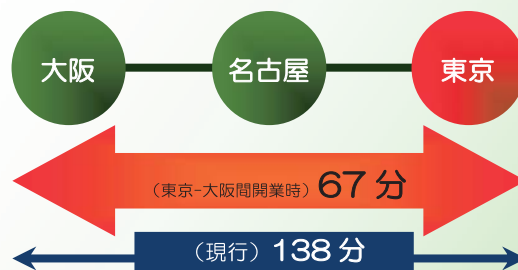
リニア中央新幹線で、三大都市圏がひとつの都市圏に！

現在、首都圏、名古屋圏及び大阪圏を約1時間で結ぶ「リニア中央新幹線」の整備計画が進められています。リニア中央新幹線は、車両に搭載した超電導磁石と地上に取り付けられたコイルとの磁力によって浮上して走行する輸送システムです。開通すれば、航空機のスピードと新幹線の輸送力を併せ持った画期的な輸送機関になります。

リニアの開通により東京～大阪間の移動時間が大幅に短縮されることで、三大都市圏が一体化され、約7千万人にのぼる大交流リニア都市圏ともいえるべき巨大都市圏が生まれます。これにより、大きな経済効果と活発な交流が促され、沿線地域が取り組む地域活性化策とあいまって国際競争力の更なる向上が期待されています。



リニア中央新幹線 ルート概念図



	開業時期 ※ 予定
東京～名古屋	2027年（平成39年）
東京～大阪	2045年（平成57年）

資料提供 リニア中央新幹線建設促進期成同盟会

Ⅲ 東京の強みをいかしたまちづくり

1 世界に進出する東京のものづくり

東京には、高い技術を持ったものづくりの中小企業が集積しており、オンリーワンの技術力で世界から評価されている企業も数多く存在します。今後、こうした東京のものづくり技術の強みを更にいかしていくため、中小企業の方向性や世界に進出する中小企業について紹介します。

◆ これからの中小企業の方向性

日本で最大の企業集積地、東京。その中の実に**9割以上が中小企業**です。
つまり、東京の産業は中小企業が支えているのです。



円高、アジア諸都市の台頭...日本の企業も変革の時を迎えています。
今後、中小企業はどのような方向に向かっていくのでしょうか。

○ 今後の中小企業は ~東京商工会議所に聞く~

今、中小企業は、円高や材料高などの状況に加えて、国内市場が縮小する中、成長著しいアジアの需要を獲得すべく、海外展開を積極的に進めていく時期に差し掛かっています。

グローバル競争に打ち勝つためには、各企業が技術力に磨きをかけることはもとより、企業間連携・産学連携等により、新たな付加価値を創り出していくことが極めて重要です。

もともと日本の企業は飛行機や上水道の整備、スペースシャトルの部品や職人の技が必要となる製品など、量産するよりも精密さや質を求められる産業分野での強みを持っています。今後、海外展開に向けて、それぞれの企業が持つ高い技術をいかした製品を製造することが必要となっていくます。



◆ 世界にはばたくオリジナルブランド

佐藤繊維株式会社は、山形県寒河江市に所在する 1932 年創業の紡績ニット会社です。原料選び、糸づくり、ニット製品製造まで一貫して自社工場で行っており、Made in Japan のものづくりを大切にしています。現在、ファッションのまち渋谷にショールームを構え、世界への販路拡大を進めています。

第 3 回「ものづくり日本大賞」では 製品・技術開発部門で経済産業大臣賞を受賞しました。



資料提供 佐藤繊維(株)

○ これからの中小企業のものづくり ～佐藤繊維株式会社社長に聞く～



佐藤繊維株式会社
佐藤社長

中小企業に求められるものづくりは

日本のものづくりは世界に誇る技術です。ファッションやサービスの水準も高く、日本だからできるものがあります。

中小企業は数で競争してはいけません。トレンドに流されず、付加価値の高いものづくりをしていくために、デザイン、製造、プロモーション、販売までの全ての過程を自社で行っています。



佐藤繊維(株) 東京社屋 1 階
セレクトショップ「ノートルエスカリエ」

地方都市と東京の役割分担は

地方都市でもデザイン、製造、プロモーションはできますが、販売だけは東京でないとできません。国内外に販売するためには交通アクセスが重要で、その点で東京は大変便利です。

海外からみた日本（東京）の位置付けは

10年前のアパレル業界においては、日本のものづくりや技術力についての知名度は低く、他のアジア諸国と同じ位置付けでした。しかし、最近になって海外メディアが日本独自の文化や伝統的な技術についての特集を組むようになり、日本はものづくりの面においても水準の高い国として認識されています。

日本の特集が組まれるようになったのは、日本の経済面以外の特徴に注目が集まってきたためかもしれません。また、有名デザイナーなどの裏方として世界で活躍する日本人も多くなり、少しずつ日本への理解が進んできたこともありますね。



資料提供 佐藤繊維(株)

◆ 積極的に海外展開する中小企業

日本のものづくりを支えてきた製造業についても、世界に発信する企業が増えつつあります。ここでは、東京から世界に進出を果たして第一線で活躍している企業に、その取組や東京との関わりについて語っていただきました。

“振動と騒音のない環境づくりへ”

(免震・防振装置製造 株式会社エーエス 早川社長 本社：墨田区)
震災以降、免震技術には注目が集まっていますが、当社では特許を取得したシステムで美術品の保護や製造設備のBCP対策等、多方面に納入実績を持っています。

東京は世界でトップクラスの性能・品質の技術を持つ企業が多く、長く続く経営パートナーが得られやすいという利点があります。世界的に低コストを武器とする企業が台頭してきている現在の状況に対応していくために、企業間連携と海外の人的ネットワークなどを駆使して製品開発や販売を行っていくつもりです。



株式会社エーエス 早川社長

“「ここにしかない」高精度計量計測技術で宇宙を見つめる”

(計量機器製造 新光電子株式会社 安西社長 本社：文京区)
グローバルな工業化が進む中で“高品質な製品を継続的に供給できる”企業へのニーズは高まっています。大型光学赤外線望遠鏡「すばる」に採用された当社の音叉センサ技術は、電子天びん・はかり等の計量計測分野での高精度と安定性に貢献し、その製品は、世界中で高く評価されています。

東京は中央行政機関やメーカー本社などが集積しており、情報量の多さという点で拠点を置くメリットは大きいです。この利点をいかしてニーズを踏まえた「独自の技術」を製品として提供していきます。



新光電子株式会社 安西社長

“最先端の「光テクノロジー」で豊かな社会づくり”

(LED照明等光学機器製造 株式会社オプトデザイン 佐藤社長 本社：八王子市)
当社は、LED照明を均一に散光させるパネルの開発でシェアを広げ、電機関連企業との連携を図ってきました。多摩地域に集積するハイレベルな光学技術と産学との結びつきをいかして、高付加価値な製品を提供しています。

東京には多摩地域を始めとした緑の豊かな地域が存在し、自然と調和した伝統産業があります。今後は、LEDと伝統技術の融合したデザイン照明などで自然と共生した製品を提供していきたいと思っています。



株式会社オプトデザイン
佐藤社長



大丸有地区の新事業創造支援拠点「日本創生ビレッジ」

人・モノ・カネ・金融・情報・インフラなどが集まる東京のビジネスセンターである大丸有地区の新丸ビルにおいて、ビジネスマッチングの場づくりが行われています。

「日本創生ビレッジ」と名付けられたこの取組の中では、ビジネス開発支援オフィスの提供による IT、ライフサイエンス、エネルギー技術などの中小ベンチャー企業への支援と、経営者、出資者に加え有識者やメディア関係者など約 560 人が交流するビジネスクラブ「東京 21c クラブ」の運営を行っています。これらの取組により大丸有地区発の技術やアイデアを軸とした産業やビジネスイノベーションの創出を模索しています。

“大丸有地区のポテンシャルを活用した実効性のあるマッチングを提供”

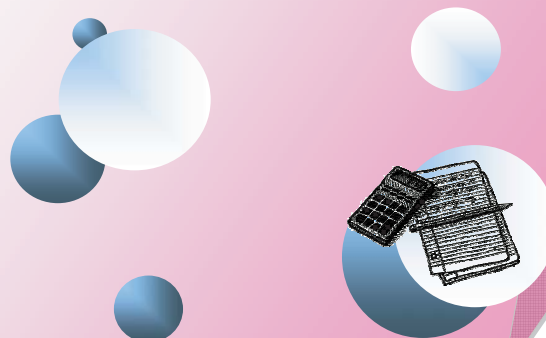
大丸有地区の最大の魅力は、多様な機能が集積していることです。世界を代表する企業に加え、商業施設や美術館、宿泊施設などのアメニティ機能が集積しています。

この高いポテンシャルを有するエリアを舞台に、ビジネスイノベーションを発信する「日本創生ビレッジ」の取組は行われています。2000年に「日本創生ビレッジ」の前身となるビジネス交流の取組が開始されてから、年間約200回を数える交流会や延べ900件を超えるビジネスマッチングの機会を経て（2011年度実績）、これまでに5社が新規株式公開に至るなど、オフィス＋ネットワーク提供型のビジネス開発支援の取組の成果が出始めています。

今後、東京21cクラブや支援を受ける企業から広がる人的ネットワーク、さらに日本が強みを持つ技術を活用して、丸の内を世界有数の新事業創造と産業創出の拠点として確立させていきます。同時にこれらの企業が成長していくことで、更に丸の内を活気あるビジネス・交流拠点としていくことを目指します。



（日本創生ビレッジ担当者）



2 固有文化をいかしたまちづくりへの展開

都市の魅力を世界に発信する要素の一つに、その都市特有の文化があります。東京には、古くからの伝統文化からミシュランからも評価される豊かな食文化まで、多様な文化が息づいています。ここでは、東京のまちが有する文化資源に着目し、まちづくりと連動した取組について紹介します。

◆ 東京に存在する個性的なまち



三菱UFJリサーチ&
コンサルティング(株)
太下義之 氏

○ 東京のまちの文化的特徴とは ～三菱UFJリサーチ&コンサルティング 太下氏に聞く～

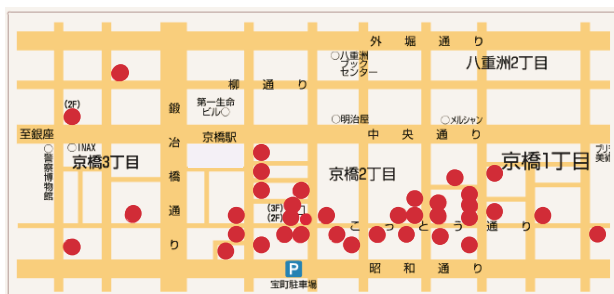
東京には、京橋・日本橋の骨董通りや神保町の本屋など、特定の業種が集まって特色を作っているまちが多くあり、その一つ一つが都市の魅力を作り出しています。

現在、アジア諸都市でも文化振興事業に大量の投資を行っており、その勢いは東京に迫りつつあります。東京がアジア圏のハブとなるためには、東京のまちが持つ個性的な魅力を世界に積極的に知らせていくとともに、都市の文化を牽引する『人』が活躍できる場をつくっていくことがキーポイントとなっていくでしょう。

◆ 個性的なまちを歩く

京橋・日本橋の古美術店の集積

京橋・日本橋近辺では、企業の応接室に飾るような古美術や骨董品のニーズの高まりを受けて、京橋一丁目から日本橋三丁目周辺にかけて約 150 店もの古美術店が集積してきました。特に、京橋一・二丁目通りは「骨董通り」と呼ばれ、親しまれています。



● 京橋周辺のアートのスポット（一部）

中央区観光協会「日本橋・京橋美術骨董通りマップ」より作成



骨董通りのまちなみ

世界一の本のまち、神保町の「古書店街」

江戸時代、神保町は武家屋敷の町でしたが、明治時代以降、大学や各種学校などの教育施設が多く建てられ、近くの神田公園地域にも東京大学、高等商業学校（現在の一橋大学）、学習院大学等の教育施設が多く立地したため、印刷・製本業、古書店が集積しました。神田神保町オフィシャルサイトによると、現在、神田神保町には古書店が約 180 店もあり、世界一の本のまちとなっています。



千代田区観光協会「千代田まちマップ」より作成

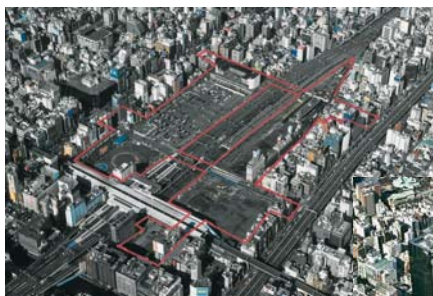


神田古本まつり

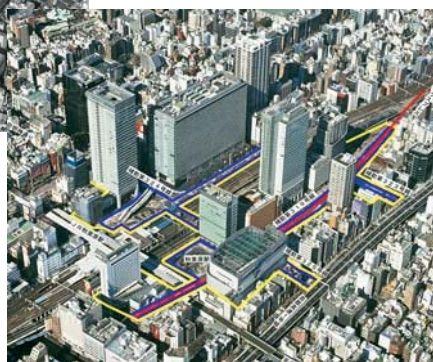
秋葉原の「電気街」と新産業拠点

秋葉原は、戦後に集まったラジオ部品販売店から次第に拡大して、高度成長期には全国的に有名な電気街に成長し、その後も音響機器やパーソナルコンピュータなど時代のニーズに応じて発展しました。現在では、アニメコンテンツなどソフト関連の店舗も集まり、日本ならではの文化発信地として、東京を代表する観光地の一つとして有名になっています。

さらに、神田市場跡地などで東京都が実施した土地区画整理事業を経て 2006 年にオープンした秋葉原クロスフィールドには、IT 企業や大学などが多く集積し、新産業の発信拠点となっています。



平成 9 年 秋葉原駅周辺



平成 19 年 秋葉原駅周辺



●秋葉原駅周辺の電気商店（一部）
秋葉原駅前商店街振興組合資料より作成

◆ 東京の都市づくりと文化発展



ニッセイ基礎研究所
吉本光宏氏

○ アーティストの住みたいまちを目指して

～ニッセイ基礎研究所 吉本氏に聞く～

東京のイメージとして思い浮かぶのは、多様な文化が混在しており、常に新しい文化が生まれる新陳代謝の活発な都市だということです。

そうした東京の強みを、今後の都市づくりの中で強化するためには、アーティストが住みたいと思うまちにしていく視点が大切です。世界の有能なアーティストがまちに住まうことにより、東京ならではの先端的な芸術表現が生まれ、それが産業や経済にも波及していきます。アーティストが住みたいまちをいかに形成するかが、東京が世界に誇る文化都市になるためには必須の要件となるでしょう。

◆ 「歩きやすいまち」から「歩きたいまち」への取組

東京都は、都市開発に伴うオープンスペースの整備や歩道のバリアフリー化など「歩きやすいまち」に向けた取組を進めてきました。今後は更に芸術文化や観光の視点も取り入れ、訪れた人が「歩きたい」と感じるまちづくりを進めていくことが、新たなにぎわいや交流を生み出すキーポイントとなっていきます。ここでは、そのような「歩きたくなるまち」に向けた取組を紹介します。

東京のファッションの発信拠点、表参道

もともと神宮外苑から明治神宮へ向かう由緒ある参道であった表参道は、現在では美しいケヤキ並木の沿道に洗練されたブランドショップやカフェなどが立ち並び東京のファッションストリートとなりました。かつて表参道のランドマークとして親しまれた同潤会アパートは、一部が保存されながらも、独創的な外観を持つ「表参道ヒルズ」へと変化を遂げ、世界が注目するファッションやカルチャーの発信拠点になっています。

2012年9月には、雑誌『VOGUE』が主催するグローバル・ファッション・イベント“FASHION'S NIGHT OUT”が開催されました。世界19カ国で同時開催されたこのナイトショッピングイベントでは、表参道を始め、原宿・青山周辺の約470店舗が参加し、国内外にファッション拠点性をアピールしました。



表参道のケヤキ並木

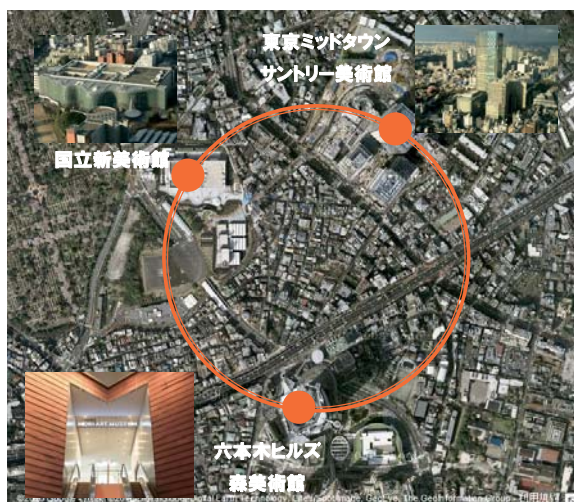


表参道ヒルズ

新たなアートクラスタ六本木で催す“六本木アートナイト”

六本木には、六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT 及び国立新美術館が駅周辺の徒歩圏内に集中しており、新たなアートクラスタとしてにぎわいを呼んでいます。

さらに、これらの施設や美術館に加え六本木商店街などを舞台に、アート作品や音楽、映像、パフォーマンスなどの作品でまちを埋め尽くす「六本木アートナイト」が 2009 年より開催されています。2013 年は、『TRIP→今日が明日になるのを目撃せよ。』をテーマに3月に開催され、アート作品の展示など様々なプログラムが行われました。こうした地域と結びついたアートイベントにより、六本木の文化的イメージ向上を通じて、まちへの求心力が増しています。



六本木アートナイト 2013
メインビジュアル



六本木アートナイト 2012
(2012 年の様子)

(C) 2012 六本木アートナイト
実行委員会

丸の内仲通りから東京駅新駅舎へ続くにぎわい

ビジネス中心地の都心丸の内も、現在では週末にもぎわうスポットとなっています。沿道のオフィスビルにブランドショップやオープンカフェが立地するとともに、仲通りに植栽やアート展示が行われることで、歩いて楽しいまちなみを実現しました。2012 年 10 月から 2013 年 2 月にかけて、「丸の内イルミネーション 2012」として仲通り沿いの街路樹約 231 本が約 101 万の LED 電球で飾られるイベントが行われました。

さらに、2012 年 10 月には、国指定重要文化財である東京駅丸の内駅舎の焼失していた3階部分及び南北2か所の丸いドーム屋根部分を復原し、大正時代の創建時の姿に戻す工事が竣工しました。リニューアルした観光スポットを加え、丸の内周辺が、更なるにぎわいを見せています。



丸の内イルミネーション 2012

資料提供 丸の内イルミネーション実行委員会



東京駅丸の内駅舎（復原後）



ユネスコ「創造都市ネットワーク」とは？

「創造都市ネットワーク」という取組を御存知ですか？「創造都市ネットワーク」とは、独自の文化と産業でまちを元気にしている都市が連携して文化の多様性を保護するため、2004年にユネスコが創設した都市間ネットワークで、日本では、クラフト＆フォークアート分野で金沢市、デザイン分野で名古屋市と神戸市の計3都市が認定されています。

クラフト＆フォークアート分野において日本で最初の登録市である金沢市は、工芸のビジネス化を推進するための見本市「おしゃれメッセ」の開催や、伝統文化（工芸、芸能、食など）を体験できる「クラフト・ツーリズム」など様々な取組を進めています。こうした取組により、国内外に対する魅力の発信や交流・連携を推進し、また市民にとってもまちの誇りや愛着につながっています。

分野	登録都市
文学	エジンバラ、メルボルン、アイオワシティ、ダブリン、レイキャビク、ノリッチ
映画	ブラッドフォード、シドニー
音楽	セビリア、ボローニャ、グラスゴー、ゲント、ポゴタ
クラフト＆フォークアート	サンタフェ、アスワン、 金沢 、利川、杭州
デザイン	ブエノスアイレス、ベルリン、モントリオール、 名古屋 、 神戸 、深圳、上海、ソウル、サンテティエンヌ、グラーツ、北京
メディアアート	リヨン
食文化	ポパヤン、成都、エステルスンド、全州、

※2012年5月現在
UNESCO「Creative Cities Network」HPより作成



おしゃれメッセ 2012



金沢 金箔工芸品

資料提供 金沢市

3 世界に先駆けた環境先進都市の実現

地球温暖化など世界規模での環境問題が深刻化する中でまちづくりを進めていくには、環境負荷の低減を図り、低炭素型都市へと転換していく必要があります。東京都市圏では、民間企業や市民団体が行政と連携して緑の保全・創出や都市活動に伴うエネルギー効率化に積極的に取り組んでいます。

◆ 市民意識の高まりを捉えた環境保全の取組へ

○ 行政・企業・市民のパートナーシップを目指して

～セブン-イレブン記念財団に聞く～

NPOをはじめとする市民活動の力は、いまや自然保護活動をはじめとする地域の環境保全において大きな役割を果たしています。セブン-イレブンでは、ごみ拾い活動による地域美化を契機として環境活動への取組を開始し、現在では多くのNPOへの支援も行っています。

今後、市民活動への支援は、企業と行政が協働して担っていくことになるでしょう。この際、支援の実効性を上げるためには、それぞれの得意分野をいかしていくことが重要です。例えば、セブン-イレブンの強みは数多くのお店を通したお客様との接点です。今後、店頭での募金活動を基盤に、NPOへの支援を含めたさまざまな社会貢献活動に取り組んでいきたいと思っています。

NPOにおいても、これからは単に企業や行政に支援を求めるのではなく、共に地域をつくるパートナーであるよう、市民意識の高まりを捉え、地域と一体となった活動を展開していくことが、時代として求められていると思います。



緑と共にある暮らしを考えるセミナー
～エメラルド・ネックレス in Tokyo～
（東京の緑を守ろうプロジェクト（下記参照）の取組の一つ）

◆ 民間基金と連携した緑の保全

東京の緑を守ろうプロジェクト

東京都では、平成22年2月にセブン-イレブン記念財団と協定を締結し、東京の緑の保全等に取り組む市民団体の支援を行う「東京の緑を守ろうプロジェクト」を開始しました。

このプロジェクトでは、シンポジウムやセミナー等の開催とともに、東京の緑を守り育てる市民団体の活動費用を助成する「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」を実施しており、これまでに53の市民団体の活動を支援しています。



◆ 開発が生み出す都市環境改善の取組

環境技術ショーケース 「エコ・ミュージアム」

都心部の都市再生特別地区では、開発事業と連動して環境先進都市を先導する取組が積極的に行われています。例えば、2012年10月に竣工した大手町フィナンシャルシティの一角には、先進的な環境技術を紹介し、来街者の環境意識を啓発する「エコ・ミュージアム」がオープンしました。

この「エコ・ミュージアム」では、屋上緑化技術を利用した庭園、エリア内発電量や気象情報などを見ることができるサロンスペースなどとともに再生可能エネルギーを利用した実証実験場「アーバン・エコ・ファーム」が展示されています。この実証実験場では、ビルの中水を利用する促成技術やトリ・ジェネレーション（コージェネレーションシステム¹による熱、電気利用に加え、排気されるCO₂を植物栽培に利用）などの仕組みを取り入れた都市型植物工場の取組を紹介しています。

これらの取組を通じて、「エコ・ミュージアム」が人の集まる場所として機能し、まちのコミュニティを創出することを目指しています。



エコ・ミュージアム 入口



アーバン・エコ・ファーム

資料提供 (社)大丸有環境共生型まちづくり推進協会

カーボン・ゼロからZEB² の実現へ

地球レベルでの温暖化や都市のヒート・アイランド現象の問題が取りざたされる今日、オフィスビルから排出されるCO₂の削減は東京の大きな課題の一つです。

この課題への取組として、2012年5月に竣工した清水建設本社では、先進的な環境技術の導入と効率的な施設運用によって建物のCO₂排出量ゼロを目指す取組が行われています。特に、設置されている地域冷暖房施設の排熱を利用する空調システムや照明ごとにコントロールする照明設備、断熱性能の高い外装システムなどの技術導入に力を入れて、設備面で約62%のCO₂削減を実現しています。

今後、自社のCDM³（クリーン開発メカニズム）で創出した排出削減枠と合わせて、2015年にはZEBの実現を目指しています。こうした持続可能なエネルギー循環システムによって、世界にアピールする環境先進都市東京の魅力が高まることが期待されます。



清水建設 本社

資料提供 清水建設(株)

¹ コージェネレーションシステム：発電とともに、発生した熱を冷暖房や給湯などに有効利用するシステム。70～80%に達する高いエネルギー利用効率を実現する。

² ZEB：ゼロ・エネルギー・ビルのこと。年間での一次エネルギー消費量が正味でゼロ又はおおむねゼロとなる建築物を指す。

³ CDM：先進国が削減目標を達成するために利用することが認められた仕組み。他国から削減分を購入する仕組み（排出量取引）と、他の国で実施される温暖化対策プロジェクトへの投資を通じてその削減分を自国での目標達成に算入することができる。

◆ スマートハウス⁴、スマートシティ⁵への取組

TBWA博報堂による「ミライニホン」プロジェクト

TBWA 博報堂は、HEMS（ホームエネルギー管理システム）を始め、太陽光発電、浄水システムなどを取り入れて、既存のインフラから完全独立可能なスマートハウスである「ミライニホン」を提案しています。

「ミライニホン」は、生活者のニーズに企業の持つ技術力を組み合わせて具現化したプロジェクトです。この取組は、既存インフラからの独立（オフグリッド対応できる）を促し、通常のライフラインが途絶えても安心して生活できる住環境の実現を目的としています。それを支える技術力の集合体が「ミライニホン」ハウスです。

ミライニホンは、2012年8月から実用化され、販売が開始されました。



資料提供 TBWA 博報堂

柏の葉スマートシティの取組

千葉県柏市にある柏の葉キャンパス駅周辺では、豊かな自然環境と学術施設が集積する地域性を利用してスマートシティの実現への取組が行われています。

計画地では、近接するショッピングセンターに蓄電池や複合型コージェネレーションシステムなどを備えてエネルギーの複線化を実現し、平常時の電力平準化と緊急時の電力の継続供給を目指しています。

また、AEMS（エリアエネルギー管理システム）を設置して計画地全体のエネルギー需給状況の見える化を図り、エネルギー需給を一元管理するとともに、管理状況を市民の間で共有して電力逼迫時に需要抑制を喚起するなど、ピークシフトや停電回避に向けた対策を行います。

駅前複合開発の完成は2014年を予定しており、将来的にまち全体でCO₂排出量削減率60%を実現することを目指しています。



柏の葉スマートシティ（イメージ）



エリアエネルギー管理システム

資料提供 三井不動産㈱

⁴ スマートハウス：太陽光発電や燃料電池などの創エネ、高気密や高断熱などの省エネ、蓄電池や電気自動車などの蓄エネを組み合わせ、ホームエネルギー管理システム（HEMS）を用いて、電気や熱などのエネルギー需給を最適に管理する住宅のこと。

⁵ スマートシティ：分散型発電システム、再生可能エネルギー、電気自動車、高効率なビル、家庭の電力使用量の見える化などの技術を使って、都市全体のエネルギー構造を高度に効率化した都市のこと。

おわりに

日本で製造された製品に付される“Made in Japan”の呼称は、品質が粗悪であるというかつてのイメージから、今では、高品質なモノの代名詞へと大きな変化を遂げました。

同様に、国家にもブランドが存在します。国際的なブランドコンサルティング会社であるフューチャーブランド社が、文化や産業、経済的な活力などを基に、各国のブランド力を指数化して毎年公表していますが、昨年 11 月に発表された最新のランキングによると、日本は、スイス、カナダに続き、堂々の第 3 位となりました。

日本のブランド力が高く評価されているのは、テクノロジーの高さや観光の魅力、豊かな文化・遺産などが認められた結果ですが、これには、日本を代表する都市の一つである東京という都市の魅力も大いに貢献しているのではないのでしょうか。

本書では、東京が持つ多彩な魅力や、先進的な都市づくりについて紹介してきました。魅力とにぎわいを生み出す多様な都市再生プロジェクト、世界に進出する東京のものづくりと企業集積をいかした新しい産業創出の場づくり、固有文化をいかした個性的なまちづくりなど、東京では、歴史や文化をいかしながら新たな活力を生み出す様々な取組が展開されています。

今後、こうした質の高い都市づくりが広がっていくことにより、東京が、住み働きやすく、また世界の「ヒト、モノ、カネ、情報」などを呼び込める都市として進化を続けていくことで、東京の都市力が高まり、ひいては国家のブランド力が更に向上していくことと期待しています。

最後になりましたが、本書の作成に当たっては、インタビューや資料の提供などについて、多方面にわたる方々からの御協力をいただきました。この場を借りて、心からお礼を申し上げます。

東京都市白書 2013

登録番号 (24) 154

—新たな魅力を生み出す都市づくり—

編集・発行	平成25年4月発行 東京都都市整備局都市づくり政策部広域調整課 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 電 話 番 号 (03) 5388-3227 ファクシミリ番号 (03) 5388-1351
印刷会社名	正和商事株式会社 東京都新宿区中落合一丁目6番8号 電 話 番 号 (03) 3952-2154 ファクシミリ番号 (03) 3952-2158

